

2011-B					
拠出金・基金の名称:		国連人間居住財団拠出金(CERF)			
種 別		イヤーマーク ノン・イヤーマーク			
拠出先の国際機関名: 国連人間居住計画 (UN-HABITAT)					
【所管官庁担当局課・室名】: 外務省国際協力局地球規模課題総括課					
【当該任意拠出金の目的・用途等】 アジア太平洋地域の復興対応ファシリティ事業 第6期: 過去10年間、前例のない規模の自然災害や人的災害が頻発しているアジア太平洋地域において、災害被災地の復旧・復興支援要請に基づいて、当初の緊急対応・被害査定・事業策定等を行う。対象事業の選定においては、自然災害・人的災害など人道的危機が深刻である事案を優先とし、居住分野を担当する国連ハビタットの権限内で速やかに支援を実施する。					
最近3年間の我が国支払額及びODA率					
単 位	邦 貨 (千 円)	外貨1 (千ドル)	外貨2 (千)	レ ー ト	ODA率(%)
平成23年度	4,183	47	-	1ドル = 89円	100%
平成22年度	4,418	47	-	1ドル = 94円	100%
平成21年度	4,841	47	-	1ドル = 103円	100%
【当該任意拠出金等の意義、成果等に関する我が国としての評価】 2010年の大洪水から毎年洪水で深刻な被害を受けているパキスタンにおいて、本事業を通じて、2012年洪水の緊急対応や住宅復興等に向けた今後の事業策定、水と衛生に関する初期被災状況調査を行ったほか、被災した住宅の復旧・復興分野でパキスタン国家災害管理機関(NDMA)の州政府等に対する政策指導を支援した。本事業で策定した事業提案や調査により、後に国連緊急対応基金(UN-Central Emergency Response Fund - CERF)より、住宅、水と衛生支援事業へUSD1.14millionが拠出された。事業終了済み。					